

# 山口県感染症発生週報

(第8週:平成25年2月18日～2月24日)

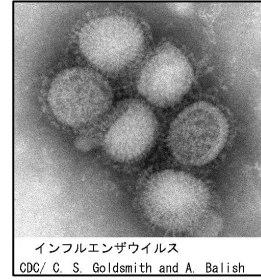
## 1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆結核: 第8週: 2例(岩国、宇部)。

【5類感染症】

◆急性脳炎: 第7週追加: 1例(宇部)。



## 2 定点把握感染症(5類感染症)

### (1)特記事項

◆インフルエンザ: 報告数は第4週をピークに3週連続で減少していましたが、今週はやや増加しました。地域別では宇部以外で警報レベル又は注意報レベルが続いています。県内全域で流行が続いていますので、注意が必要です。迅速検査では、A型933例、B型219例、A型B型共に陽性1例、臨床診断144例で、B型の割合がやや増加しています。また当所で、第6、7、8週の検体についてPCR検査を行った結果、AH3(香港型)が5例、B型が2例、AH1pdmが1例検出されています。AH1pdmはおよそ2年ぶりに検出されました。

【警報レベル=岩国(6週目)、下関(5週目)、周南(5週目)、柳井(5週目)、長門(5週目)。注意報レベル=防府(6週目)、萩(6週目)、山口(7週目)、宇部(新)。】※

◆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 山口、防府からの報告が目立ちます。【警報レベル=山口(5週目)】※

◆感染性胃腸炎: 萩からの報告が増加し、今週警報レベルとなりました。【警報レベル=萩(新)】※

◆水痘: 周南からの報告が目立ちます。

◆細菌性髄膜炎: 岩国から1例報告がありました。新生児でB群溶血性レンサ球菌が検出されています。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。  
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuho.php>

### (2)週別発生状況

疾患名	6週	7週	8週	疾患名	6週	7週	8週
インフルエンザ	1663	1196	1297	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	41	44	51	ヘルパンギーナ	2	1	3
咽頭結膜熱	10	14	8	流行性耳下腺炎	10	3	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	139	121	133	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	423	440	481	流行性角結膜炎	4	0	1
水痘	101	80	90	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	1	6	1	細菌性髄膜炎	0	0	1
伝染性紅斑	2	3	3	マイコプラズマ肺炎	8	2	2
突発性発しん	29	29	30	無菌性髄膜炎	0	0	0

### (3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	323	214	73	215	125	128	131	36	52	1297
RSウイルス感染症	25	0	5	13	0	2	1	4	1	51
咽頭結膜熱	1	3	1	0	3	0	0	0	0	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	5	2	31	17	36	6	4	6	133
感染性胃腸炎	108	60	5	95	21	38	94	13	47	481
水痘	12	14	10	28	5	2	16	3	0	90
手足口病	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
伝染性紅斑	1	0	0	1	0	0	0	0	1	3
突発性発しん	7	2	1	5	4	6	3	0	2	30
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	1	0	0	0	1	0	1	0	0	3
流行性耳下腺炎	0	0	1	0	1	2	1	0	0	5
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※平成25年3月6日に一部修正しました。